

「浄法寺漆の 現状について」



二戸市浄法寺総合支所
山本 進



浄法寺漆と文化財

日光東照宮 陽明門



平成の大修理（H25年から4カ年）
※H29年度は日光の輪王寺、三仏堂修理工程予定

中尊寺金色堂



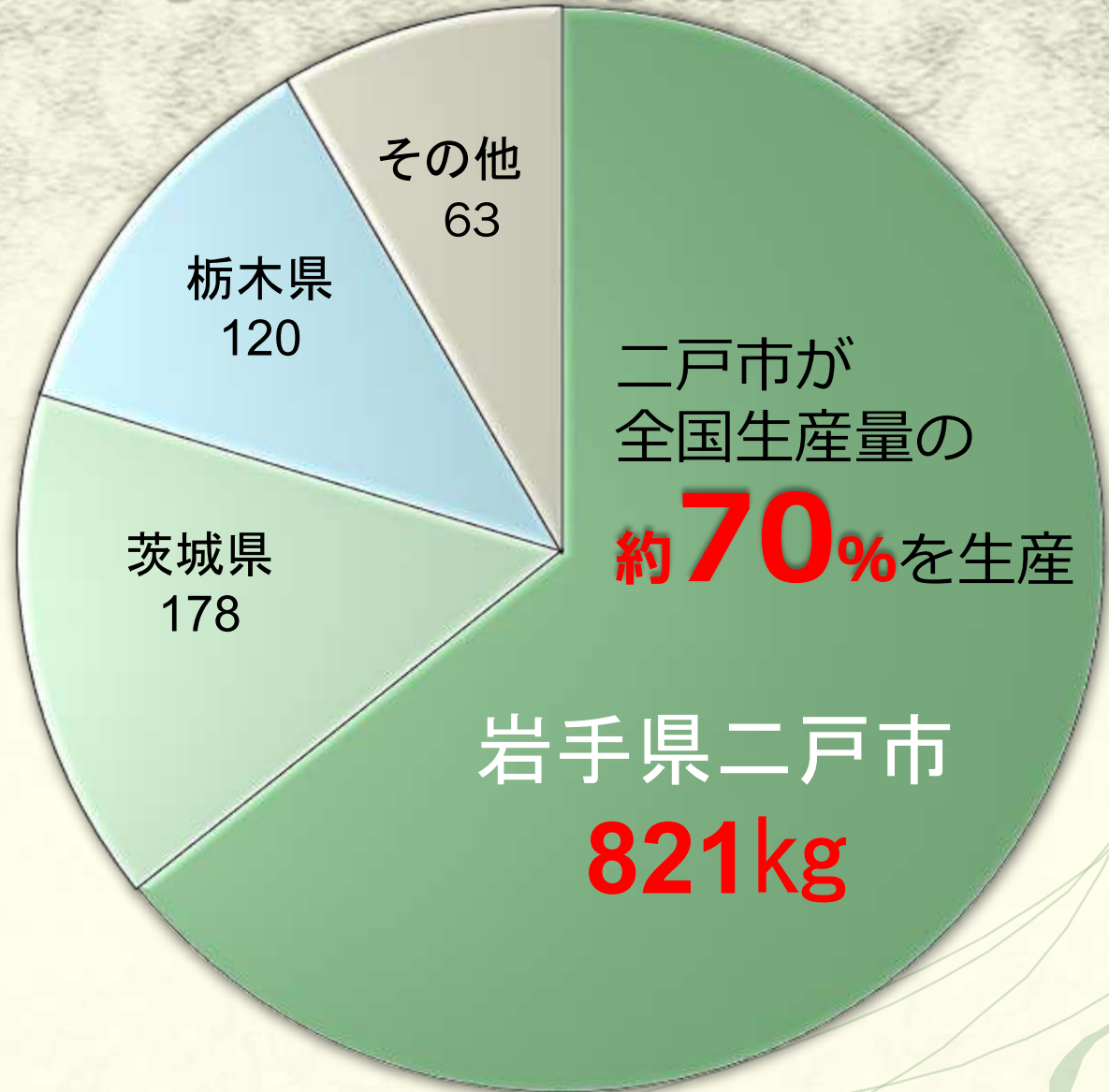
昭和の大修理（昭和37年から6カ年）

日本産漆のH27年産 生産状況



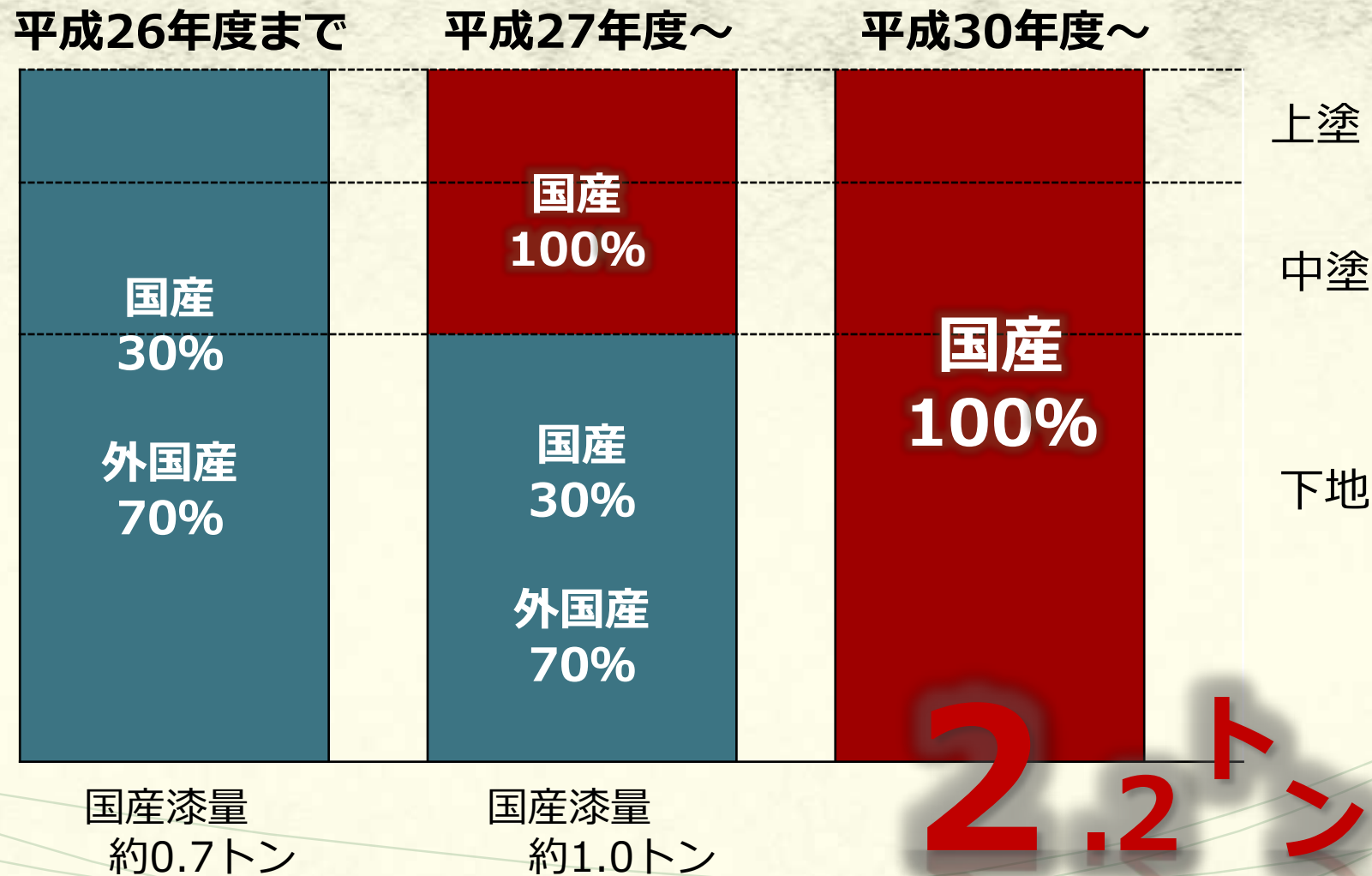
国内で流通する
国産漆は

約 3 %

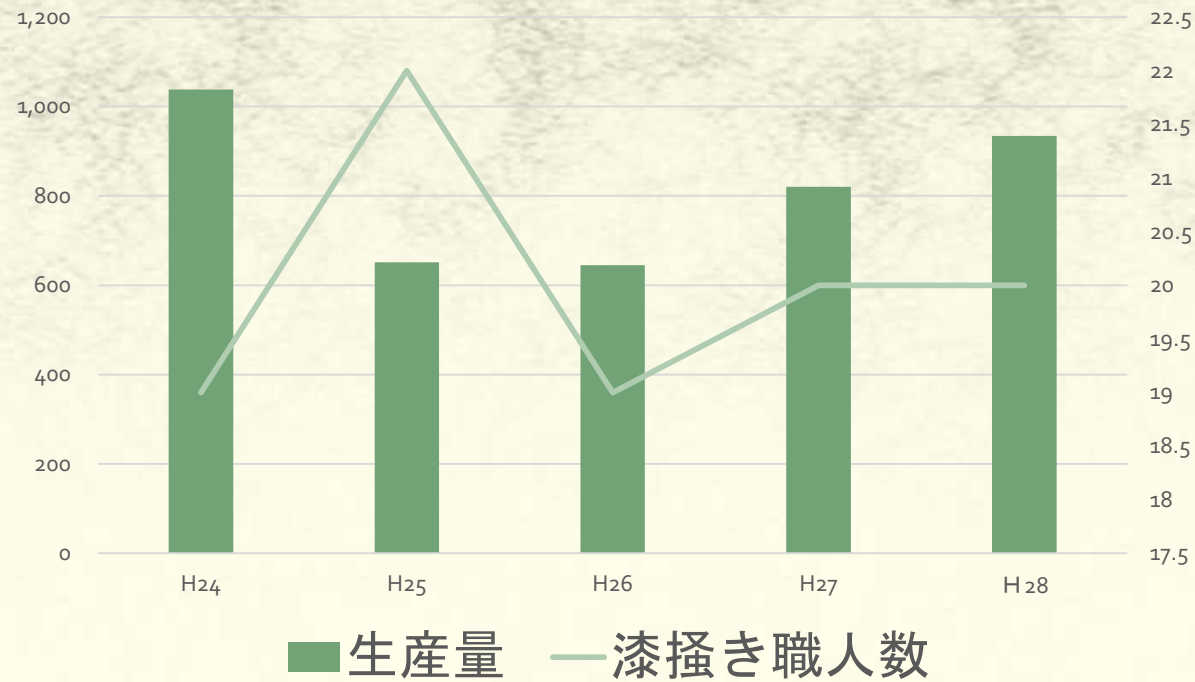


国産漆の使用拡大の方針【需要量】

(平成27年2月・文化庁)



浄法寺漆の生産量と職人数の推移(過去5年)



	H24	H25	H26	H27	H 28
生産量	1, 038	651	645	820	934
漆掻き職人数	19	22	19	20	20

ウルシの植栽状況

H28年度原木調査結果(速報値)

【浄法寺地区】

H21年度時点

箇所数	222箇所
原木本数	133,000本

※採取可能な漆原木本数



H29年度時点

箇所数	315箇所
原木本数	73,000本

(93箇所増)
(約6万本減)



原木所有者の高齢化、原木価格の低下

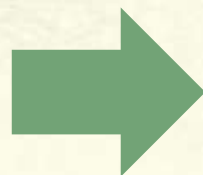


原木必要本数



需要見込

2^{トン}



原木必要本数

180,000本

H28年度生産量0.9^{トン}

原木調査前 21万本

生産量 50kg × 職人 40名



職人 40名 × 原木 300本 × 15年

H28年度職人数 20名

二戸市の取組み

①人材育成

●地域おこし協力隊制度活用による人材育成

H28年度 2名＋H29年度 2名

合計 **4** 名



●日本うるし掻き技術保存会との連携

H9年～H28年度までに**42**名が
研修修了

（うち岩手県浄法寺漆生産組合にて

従事する漆掻き**15**名）



②原木の確保

●原木管理システムの構築

●漆林整備事業

●苗木購入助成



原木調査のデーター

Ex. 漆林の位置、所有者、面積等



情報提供

登録制度

漆生産組合

原木所有者

情報
共有

漆産業課

漆掻き職人

管理団体



浄法寺漆にこだわった『ものづくり』



南部漆の郷コンソーシアム〈仮称〉 の設立

